



旬の話題をお届けします！

# 全肢長通信

令和4年度 第3号  
(不定期発行)

令和4年11月21日 発行



会長 伴 光明  
(都立多摩桜の丘学園)

## 第68回全肢研兵庫大会開催

近畿地区の校長先生方は当日参集、12月には全国へオンデマンド！

### 第68回 全国肢体不自由教育研究協議会 兵庫大会

第68回近畿地区肢体不自由教育研究大会  
令和4年度兵庫県肢体不自由教育研究協議会

大会主題  
「肢体不自由教育の充実をとおした共生社会形成の推進」  
～個別最適な学びと協働的な学びの実現をめざして～

当日及び会場	
会場開催型	令和4年11月17日(木)
会場	アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)
※新型コロナウイルス感染症対策のため、本大会の開催形態は次のとおりとします 文部科学省・ご来賓・記念講演講師・全国肢体不自由教育研究協議会・近畿地区の肢体不自由特別支援学校 長	
動画配信	令和4年12月21日(水)～令和5年1月10日(火)



11月17日(木)、兵庫県の姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」において、第68回全国肢体不自由教育研究協議会並びに第68回近畿地区肢体不自由教育研究大会、令和4年度兵庫県肢体不自由教育研究協議会を開催しました。

近畿地区と全肢長役員の校長先生方約50名が会場に参集し、菅野視学官、兵庫県教委、姫路市教委からの御来賓を迎えて初日のプログラムを進めました。令和元年に青森大会で八戸に集ってから、埼玉大会、富山大会では参集を断念してきた経緯があり、この間ずっと見守っていただいていた菅野視学官には、16日の校長研修の再開と合わせて、たいそうお喜びいただきました。

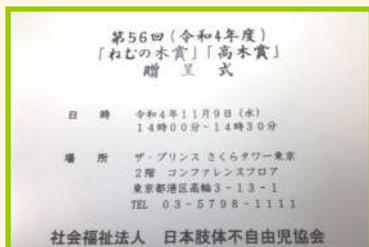
さて、全国肢体不自由教育研究協議会は、昭和32年に立ち上がりました。

この頃、肢体不自由教育においては、神戸市、尼崎市、姫路市などの兵庫県内の各自治体のお取組が、たいへん先駆的なものがあつたと伺っております。我が国の肢体不自由教育の歴史において、地域主体の学校教育を進める大きな一歩が記されたのがここ兵庫県であります。今次大会においても、実行委員長である尼崎市立あまよう特別支援学校の小寺校長先生をはじめとする兵庫県内の校長先生方に周到なご準備をしていただきました。先人のご苦勞に敬意を表するとともに、大会運営へのご尽力に深く御礼を申し上げます。

この大会を成功させるためには、全国の校長先生のもう一手のお力添えが必要です。動画配信は**12月21日から視聴可能です**。多くの皆さんが視聴していただくようにご指導ください。ぜひともお願いします。 [兵庫大会へのリンク](#)

★ねむの木賞受賞おめでとございます 2ページでご紹介しています

## ねむの木賞に輝く東さん(京都府立)



11月9日(月)東京・高輪にあるホテルにおいて、第56回ねむの木賞・高木賞の贈呈式が行われ、特別支援学校の関係では京都府立向日が丘支援学校の東光代看護師が受賞されました。自校はもとより、府全体の医療的ケアの推進に多大な貢献をされたことが高く評価されての受賞です。おめでとうございます。https://www.nishikyo.or.jp/action/award.html



学びの連続性を目指す授業づくり  
「何をどのように学ばせたのか」を明確にする

発刊10号記念  
全肢長総力編集!

「全肢長通信号外」  
で3つのポイントとお得な購入方法について御案内しています。

授業力向上シリーズ  
最新刊

## 【会長のつぶやき】

朝、出勤した職員が業務開始の前、朝のウォーミングアップに読んでほしいことを、日々書きつらねています。校長先生方はそれぞれ校長の意思を浸透させるための工夫をされていることと思います。何かの御参考になればと思い、少しずつご紹介してまいります。

## 【さくら短信】041021特別支援教育は普通教育？専門教育？

特別支援学校はそれ専門の学校でしょうか。多くの特別支援学校で行っている教育は、普通教育です。小学部・中学部はもちろん、高等部「普通科」です。学校教育には段階があって、初等教育、中等教育、高等教育という分類がこれにあたります。初等教育を担うのが小学校、中等教育は前期が中学校、後期を高等学校が担います。高等教育機関は大学等に当たります。整理して理解しておきましょう。後期中等教育の段階からは、義務教育ではなく、本人の選択により教育の機会、場を得ることになります。この時、普通教育の教育課程を望むか、専門教育の

教育課程を行う専門学科を望むか、という道にわかれま。普通教育に対する概念が専門教育で、主として高等学校の工業科、商業科、農業科、家政科、などがこれに当たります。普通学校、とか普通学級と俗に言うことがありますが、特別支援教育にかかわる立場からはその言葉には気を付けましょう。私たちがこの学校で行っているのは、普通教育です。特別支援教育は全ての段階の全ての教育において特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に必要な支援を提供する理念です。まずは携わる私たちがしっかりと整理しておきたいものです。

## ちょこっと点検!



校地内の樹木は健康でしょうか？樹勢の衰えた枝が思わぬ被害をもたらすことがあります。また、大量の落ち葉が側溝につまると雨水があふれる元になります。風雨や降雪に備えて屋外環境に気を配っていくことも、校内巡視の観点には欠かせません。

発行：全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

事務局長：泉 慎一（東京都立八王子東特別支援学校長）

Shinichi\_Izumi@member.metro.tokyo.jp

TEL:042-646-8120 FAX:042-642-2197

〒192-0032 東京都八王子市石川町3246-1